

第5学年国語科学習指導案

1 単元名

伝え合って考えよう 人と「もの」との付き合い方

2 指導観

○ 本学級の児童の実態

本学級の児童は、書く活動において、1学期単元「依頼のお手紙・お礼のお手紙」で、依頼状や礼状の形式を整えて書くことを学んでいる。また、「言葉の研究レポート」の単元では、取材の仕方を学習し、レポートを書くために自分が集められた材料を整理し、見出しを工夫したり組立てを意識したりして書くことを学ぶことができた。日常的には、視写やひとこと日記を書くこと、各教科で学習のまとめを自分でかきまとめる活動など書き慣れるための取り組みを取り入れている。

しかし、未だ書くことにとても抵抗があり、自分の考えや意見を書いて表現することができない児童も多い。書く活動の際に、なかなか書き出せなかったり、途中で手が止まってしまう児童も多数いる。また、文章を書き上げても、「おもしろかったです。」「楽しかったです。」といった表現にとどまっていたり、書き出しがいつも「今日は～」「わたしは～」で工夫があまり見られなかったりする。読み手に自分の考えがうまく伝わるように効果的な組立てを考えたり、必要に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすることまで意識されておらず、書き出し・書き表す力が十分ついているとは言い難い実態である。

児童の書くことに関する実態を把握するために、調査を行った結果、次のような結果が得られた。

1 国語の学習の中で好きなものに○をつけて下さい。(いくつでも)

話す・聞く学習…14人 書く学習…20人 読む学習…12人

2 あなたは文章を書くことが好きですか。いずれかに○をつけて下さい。

好き…6人 どちらかというが好き…12人 どちらかというと嫌い…11人 嫌い…7人

(1)「好き」「どちらかというが好き」と答えた人は、その理由を書いて下さい。(いくつでも)

①書くことで自分の考えがまとまるから …4人

②書くことで自分の考えを他の人に伝えることができるから …4人

③書くことで記録としてとっておくことができるから …9人

④その他…想像するのが楽しいから、自分の思ったとおりに書けるから

(2)「どちらかというと嫌い」「嫌い」と答えた人は、その理由を書いて下さい。(いくつでも)

①何のために書くのかよく分からないから …2人

②何を書いたらよいか分からないから …6人

③どのように書いたらよいか分からないから …14人

④その他…書き出したらまとまらないから

3 あなたは文章を書くときに、どんなことに気を付けていますか。(いくつでも)

| | |
|---|-------|
| ①何のために書くのかを意識して書くこと | … 6人 |
| ②書きたい事柄の中なら、必要なことだけを選んで書くこと | … 8人 |
| ③文章の組み立てをよく考えて書くこと | … 14人 |
| ④見たこと・起こったことと感想・意見を分けて書くこと | … 9人 |
| ⑤くわしく書くところと簡単に書くところをよく考えて書くこと… | 6人 |
| ⑥書いている途中や書いた後に読み直して、よりよい言葉を選んだり、文章表現を考えたりすること | … 18人 |
| ⑦その他 | |

実態調査の結果から、やはり、何をどのように書いたらよいのか分からず、書くことに抵抗を感じている児童が多いことが分かった。また、「何のために書くのか意識して書くこと」の数値が他に比べて低く、児童の意識付けが十分でないことが分かる。これは文章を書く際に、目的意識や相手意識を明確にしないまま指導が行われていることの現われであるといえる。

○ 本教材の価値

本教材「伝え合って考えよう 人と「もの」との付き合い方」は、自分の身の回りのものと自分のこれまでの付き合い方をふりかえることで、ものとの付き合い方を見直し、よりよい付き合い方をするためにはどうしたらよいかを考え、その考えを文章に書くことで、自分の考えを深めていくものである。

ここでは、資料「ごみ問題ってなあに」をもとに、ごみがただ使えないから捨てるものではなく、使うか使わないかという人の意識によって生まれるものだということを読み取る。この考え方から、自分が身の回りのものに対して普段からどのように付き合い合っているかを見直し、またどう付き合い合えばよいかを考えさせたい。日頃何気なく使っている身の回りのものに対して、その使い方やものに対する意識をもう一度じっくり考えさせることができるであろう。

また、自分なりの考えを持つが、それは一人一人根拠が様々である。交流を取り入れることで、自分の考えの根拠をはっきりさせ、また他の人の考えや根拠を聞くことで、もう一度自分の考えを見直すことができる。このように、自分の考えを見つめ直すことで、論旨のはっきりした文章を書くことができるようになる。

あと半年で最上級生という5年生のこの時期に、今までの生活をふり返り、よりよい生活を送っていくために身の回りのものについて改めて見つめ直し、自分たちの生活を改善する手立てを考えることは、よりよい社会が実現する可能性があることを実感させる上でも大変意義深いと言える。

○自らの考えを明確にして書き表す力を育てるための指導のあり方

指導に当たっては、次のような支援や手だてを取り入れていく。

〈導入段階〉

始めに、単元名、教材名、導入、資料から「もの」との付き合い方の意味について考え、学習の構えを持たせる。

資料「ごみ問題ってなあに」を読み、自分と「もの」との付き合い方がどうだったかを見つめ直すきっかけにさせたい。ゴミは人間の意識によって生まれるものであるということを、この資料だけではなく、教師の体験談や実際に教室の中にあるものなどを例に挙げ、理解させたい。その後、教材名、冒頭に戻り、改めて「今自分はものとのどのような付き合い方をしているのか」という問いかけをすることで、自分のものとの付き合い方を考え直すであろう。さらに、今回の学習が自分の身の回りのものと自分との付き合い方をふり返り、よりよい付き合い方はどうすればよいのかという自分の考えを文章にまとめる学習であることを知らせる。自分で文章を書くことで、自分の考えをまとめるという目的意識を持たせたい。

〈自らの考えを明確にする段階〉

まず自分の身の回りのものとの付き合い方がどうなのかを、何か一つのものを取り上げて考え、判断させる。その際、自分の考えとその判断の理由としての事例が整理して書けるような学習プリントを用意する。

次に、自分が書いたものを友だちに見てもらい、意見やアドバイスをもらうような少人数での交流の場を設定する。ここでは、本当にその考えでいいのか、またそれ以外の面はどうか、など多様な視点で意見を出させ、考え方が一つではなく、違った見方があることに気づかせる。その際、具体的な事例を挙げて説明させる。また、交流の前に、事前に意見やアドバイスをカードに書き込んでおき、そのカードを元の話ができるようにしておく。

最後に、友だちからもらった意見やアドバイスを元に、もう一度自分の考えを振り返り、まとめる。

〈書き表す段階〉

書く段階では、別の単元で学んだ書き方をふり返り、自分の考えを文章にまとめるようにする。ふり返る際には、模造紙にまとめておき、書く活動に入るときに活用できるようにする。

〈推敲段階〉

書いたものを読み返し、推敲する段階では、チェックプリントを用意し、事実と意見があっているか、書き出しの工夫、文末表現のかき分け、友達の考えに納得がいくかといった観点ごとにお互いの文章を読み合い、見直していけるようにする。必要があれば、さらに手を加え、よりよいものにしていく。

3 単元目標

- 自分と「もの」との付き合い方を見つめ直し、考えを深めようとしている。
- 自分の考えについて根拠が友達に分かるように、組み立てを工夫して話している。
- 友達の考えと自分の考えとの違いや共通点を明確にして発表を聞き、考えを深めている。
- 友達の考えを比べながら自分の考えを明確にし、文章全体の組み立ての効果を考え、事実と感想・意見を区別して書いている。

4 学習計画（全8時間 読む…1時間 話す・聞く…3時間 書く…4時間）

| | 学習活動と内容 | 教師の支援 | | |
|--|--|--|----|----|
| 一 1 | <p>1 単元名、教材名、冒頭、資料から、人と「もの」との付き合い方の意味について考え、学習の構えを持つ。</p> <p>(1) 資料「ごみ問題ってなあに」を読んで、</p> <p>(2) 冒頭の文に戻り、自分とものとの付き合い方について見直し、文章にまとめることを知る。</p> | <p>○ 「ごみ問題ってなあに」を読むことで、ゴミは人間の意識によって生まれるものであるということ気付かせる。また、教師の体験談や実際に教室の中にあるものなどを例に挙げ、理解させたい。</p> <p>○ 冒頭を読んで、身の回りのものとの付き合い方を考えていくために、みんなで考えて伝え合うという学習の構えを持たせる。</p> <p>○ どのような形で考えを伝え合ったらよいか考えさせ、自分の考えを書いて文章にまとめることを確認していく。</p> | | |
| <p>＝ 単元のめあて ＝</p> <p>自分の「もの」との付き合い方を見直して、考えをまとめよう。</p> | | | | |
| 二 1 | <p>1 自分の「もの」との付き合い方をふりかえり、今どのように「もの」と付き合っているのかをまとめる。</p> | <p>○ 前時の学習から、自分のものとの付き合い方について考えることを知らせる。</p> <p>○ 自分の身の回りのものから、特に関わりが深いものを一つ選んで、そのものとの付き合い方を文章に書かせる。</p> <p>○ 自分の考え・理由という観点で自分の考えを整理できるような学習プリントを用意する。</p> | | |
| | | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">理由</td> <td style="width: 50%;">考え</td> </tr> </table> | 理由 | 考え |
| 理由 | 考え | | | |
| 1 2 | <p>友達どうしで交流し、自分の考えの</p> | | | |

| | | | |
|---|----|--|---|
| | | 足りないところや新しく考えたことを加える。 (1) 友だちが書いた考えに対し、意見やアドバイスを書き込む。 | ○ 友だちが書いた考えと違った面を見つけさせ、意見・アドバイスカードに書かせる。 |
| 1 | 本時 | (2) グループに分かれて、友だちの考えに対して意見やアドバイスをする。 | ○ 意見・アドバイスカードを元に、意見やアドバイスを言わせる。また、聞くときにはメモができるような学習プリントを用意する。 |
| | | (3) 友だちから聞いた意見やアドバイスを元に、自分の考えをまとめる。 | ○ メモを元に、自分の考えが変わったところや付け加わったところを書かせる。 |
| 2 | 3 | 振り返ったことをもとに、文章を書く。 (1) これまでに学んだ書き方をふりかえり、自分の考えを文章にまとめる。 ・書き出しの工夫 ・文末表現の工夫 ・意見と事実を分けて書く | ○ 練習で学んだことを模造紙にまとめ、掲示しておく。 |
| 三 | 1 | 1 書いたものを読み返し、推敲する。 ・事実と意見が合っているか。 ・書き出しの工夫 ・文末表現の書き分け ・友だちによく伝わるか | ○ チェックプリントを用意し、観点ごとに友だちの文章を読み合い、見直していけるようにする。 ○ 必要があれば、さらに手を加えていく。 |
| 四 | 1 | 1 自分が書いた文章を発表する。 | |

5 本時

平成17年 11月16 日(水)

6 本時の目標

- 自分の考えを友達に分かりやすく伝えたり、友達の考えを聞いて、意見を言うことができる。
- 友だちの意見やアドバイスを元に、自分の考えを振り返り、まとめることができる。

7 本時指導の考え方

これまでに、児童は単元名、教材名、題名から、自分と身の回りのものとのつきあい方を見直し、自分の考えをまとめている。本時は、お互いの考えを交流しあい、自分の考えの根拠をはっきりさせ、また他の人の考えや根拠を聞くことで、もう一度自分の考えを見直すところである。

この時間は、少人数でのグループで交流を行う。まず、自分とものとの付き合い方について、今の自分の考えとその理由を言う。他の子は、その考え方について、違う面で意見を言ったり、付け加えたりしていく。意見やアドバイスを言う側は、前時に書き込んでおいたカードを持たせ、話しやすくする。また聞く側も、メモを取ることができる学習プリントを用意し、後で自分の考えをまとめる元にしてできるようにする。交流はグループ全員で行い、全員がお互いに意見やアドバイスを言ったりもらったりできるようにする。

最後に、交流の時にももらった意見やアドバイスを元に、もう一度自分の考えを振り返り、始めの自分の考えと比べて新たに考えが変わったり、付け加えられたりしたことをまとめる。

— 検証の視点 —

- 友だちの意見やアドバイスを聞いて、自分の考えを見直したり、新しい考えを付け加えたりすることができたか。

8 本時の展開

| 学習活動と内容 | 教師の支援 |
|---|---|
| <p>1 本時のめあてをたしかめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友だちの考えを聞いて、自分の考えを見直そう。</div> <p>2 少人数での交流を行う。</p> <p>(1) 一人の子に対して、他の子が意見やアドバイスを言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今の自分のものとの付き合い方がどうなのかとその理由を言う。 ○ それに対して、違った事例から見られる別の見方を言う。 <p>(2) 同じ要領で、交代して、グループ全員と交流する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に書いておいたカードを元にして話をさせる。 ○ 聞くときは、学習プリントにメモを取りながら聞く。 |

3 自分の考えを振り返る。

○ 前時までに書いておいた自分の考えと友だちの話を聞いて変わったところや付け加わったところをまとめる。